

令和7年度

南城市情報系サーバリプレイス業務

仕 様 書

1. 業務概要

1.1 業務名

令和7年度南城市情報系サーバリプレイス業務

1.2 業務の目的

本市では職員の業務効率化とセキュリティの向上を目的に情報系サーバの運用を行っており、今年度で前回の更改（令和2年度）から耐用年数である5年を経過することから、機器障害の危険性を軽減するために機器を更改（リプレイス）を行う必要がある。

本業務においては、現行の情報系サーバ機器の更改のみではなく、データバックアップ手法、冗長化対策、ウイルス・セキュリティ対策などを見直すことを目的とする。

1.3 業務の範囲

受託者は、以下の範囲の経費を含めた内容で契約するものとする。

- (1) 本業務の構築に係る経費(調達、設計、構築、設定、データ移行、試験)
- (2) 操作及び運用の研修に要する経費
- (3) 操作及び運用手順マニュアルの作成に要する経費
- (4) 上記経費のほか、本仕様書にて定義している要件について実現するために要する経費

1.4 履行期間

契約締結日の翌営業日から令和13年1月31日までの長期継続契約とする。構築期間および賃貸借期間は以下のとおりとする。

- (1) 構築期間は契約日翌営業日から令和8年1月31日までとする。
- (2) 賃貸借期間は令和8年2月1日から令和13年1月31日までの5年間とする。

1.5 履行場所

南城市役所（沖縄県南城市佐敷字新里1870番地）および市が指定する場所

2. 業務要件

2.1 提案に係る基本的な考え方

本市の規模、職員数を勘案し、将来的負荷や拡張性を考慮するとともに各機器の冗長性も考慮した上で提案すること。又、構築費用並びに保守費用についても明確に記載した内容で見積りを行い、保守についてはその範囲まで明確に提案すること。

2.2 機器構成

- (1) 以下のサーバを構築すること。

項番	サーバ・機器名称	台数
1	ドメインコントローラ	1台
2	サブドメインコントローラ兼ウイルス対策サーバ	1台
3	ファイルサーバ	1台

4	ファイルサーバ用バックアップサーバ	1台
5	グループウェアサーバ	1台
6	資産管理サーバ	1台
7	文書管理/備品管理システムサーバ	1台
8	ペーパーレス会議システムサーバ	1台
9	無線ネットワーク機器監視サーバ	1台
10	Windows Server Update Services (WSUS) サーバ	1台
11	業務用 DB アプリサーバ	1台
12	システム監視用サーバ	1台
13	庁内ネットワーク/LGWAN 分離用ファイアウォール (UTM なし)	1台

- (2) データバックアップについては、最適な手法を提案すること。
- (3) データバックアップについてはLANまたはWAN経由で可能なこと。
- (4) サーバOSについては、各サーバに最適であると判断したものを提案すること。
- (5) バックアップソフトについては、最適であると判断したものを提案すること。
- (6) ウイルス対策ソフトについて最適なものがあれば提案すること。
- (7) 資産管理ソフトについてはSKYSEA (最新バージョン) で提案すること。
- (8) サーバの冗長化については、最適と思われる構成で提案すること。
- (9) サーバのCPU及びストレージ容量については、賃貸借期間内のデータ増加を見据えて最適と判断したものを提案すること。
- (10) 無停電電源装置については、サーバ数を考慮して最適と判断した数量を提案すること。
- (11) 仮想化技術を用いる場合は、VMware以外のコスト削減や拡張性等を考慮したものを提案すること。
- (12) 既存のデータファイル等の最適化 (圧縮方法) について提案すること。

2.3 設定及びデータ移行

- (1) サーバOSについては、最新バージョンで設定すること。ただし、ペーパーレス会議システムについては、Windows最新バージョンがサポートしていない可能性が高い為、V2Vでの設定を可とする。
- (2) アクティブディレクトリの設定及びデータについては、既存の設定を引き継ぐこと。
- (3) ファイルサーバ及びバックアップサーバの設定及びデータについては、現在保有しているアクセス権とデータをそのまま引き継ぐこと。
- (4) グループウェアについては、既存バージョンから可能な限り新しいバージョンにリビジョンアップを行い設定及びデータについては現在の内容をそのまま移行すること。
- (5) 資産管理サーバの設定及びデータについては、既存の内容を保持したまま移行すること。
- (6) 文書管理システム、備品管理システム、ペーパーレス会議システム、無線ネットワーク機器監視、業務用DBアプリ、システム監視については、既存システムベンダーにて移行を行うため、サーバ構築までを行うものとする。
- (7) ファイアウォールについては、現在保有している設定をそのまま引き継ぐこと。
- (8) WSUSの設定については、既存の設定を引き継ぐこと。
- (9) サーバ入替及び各アプリケーション設定並びにデータ移行期間は、令和7年12月27日から令和8年1月4日までとし、令和8年1月5日からは仮稼働させること。

3. 現行サーバ・機器構成

現在運用している下表の情報系サーバに関する情報を参考に提案を行うこと。

設定情報については契約後、受託者に開示するものとする。

項番	環境	用途	CPU (コア)	メモリ (GB)	SSD 使用量 (GB)		OS
					5年前	現在	
1	仮想	ドメインコントローラ	2	8	15	30	Windows Server 2019
2	仮想	サブドメインコントローラ ウイルス対策 (Trend Micro Apex One/ ServerProtect for Linux)	2	8	50	80	Windows Server 2019
3	仮想	資産管理ソフト (SKYSEA Client View Ver.20)	4	16	202	164	Windows Server 2019
4	仮想	グループウェア (サイボウズ ガルーン Ver.5.5.0)	8	16	501	620	RedHat Enterprise Linux 8
5	仮想	文書管理/備品管理システム (File Life Station 2 /備品マネージャー 2) (Microsoft SQL Server 2019 Standard Edition)	2	16	80	291	Windows Server 2019
6	仮想	無線ネットワーク機器監視 ※今年度更改予定 (Cisco Prime Infrastructure)	4	12	123	307	仮想 アプリケーション
7	仮想	ペーパーレス会議 (Ricoh ConferenceCenter)	4	4	66	304	Windows Server 2008
8	仮想	仮想環境管理 (VMware VCenter)	2	8	-	192	仮想 アプリケーション
9	仮想	Windows Server Update Services (WSUS)	4	32	-	1,050	Windows Server 2019
10	仮想	業務用 DB アプリ (Microsoft SQL Server Express)	4	16	-	62	Windows Server 2019
11	仮想	システム監視 (Zabbix)	4	8	-	15	Ubuntu
12	物理	ファイルサーバ 重複排除設定あり 実容量：38.5TB 重複排除による節約量：18.0TB	6	16	15,000	20,500	Windows Server 2019
13	物理	ファイルサーバ用バックアップサーバ 重複排除設定あり 実容量：36.2TB 重複排除による節約量：14.1TB	6	24	17,000	22,100	Windows Server 2019
14	-	庁内ネットワーク/LGWAN 分離用 ファイアウォール (FortiGate-100F)	-	-	-	-	FortiOS

4. クライアント・ライセンス要件

- (1) サーバに接続するクライアント台数は、600台を想定すること。
- (2) ウイルス対策ソフトについては、600ライセンスを想定すること。
- (3) 資産管理ソフトについては、600ライセンスを想定すること。
- (4) Client Access License (CAL) については、600ライセンスを想定すること。

5. 運用保守要件

構築完了後、本業務の運用・保守について、受託者と契約することができるものとし、要件について以下に示す。運用・保守に要する経費は本業務に含めないこと。

- (1) 機器および仮想基盤ソフトウェアについては5年間のメーカー保守及びオンサイト保守を付すること。
- (2) 受付窓口を設け、受付時間は業務時間内（平日8時30分から17時15分までの間）とすること。ただし、本市が緊急な対応が必要な障害又は重大な障害が発生したと判断した場合は、この限りではない。
- (3) 機器に障害が発生した場合は、直ちに担当者を本市に派遣し、復旧対応を行うこと。なお、業務時間外に発生した障害については連絡した日の翌日までに担当者を派遣すること。
- (4) 障害復旧でリストアが必要な場合は、その対応を実施し、リストア完了時には、正常に復旧されたかの確認を行うこと。正常に復旧できなかった場合は、その原因を追及し、必要な対応を実施すること。
- (5) 原則として保守作業実施前に「作業計画書」を市に提出し、承認を得ること。また、保守作業実施後は作業内容を取りまとめた「作業報告書」を提出すること。
- (6) 保守作業で既存システムに関する対応が発生した場合は、既存システムベンダーと調整のうえ対応を行うこと。
- (7) 保守作業でハードディスクの交換を行った場合、交換したハードディスクは本市に返還すること。
- (8) システム管理者向けの運用マニュアルを作成し、運用に関する研修を行うこと。

6. 追加提案

本業務を行うに当たり、有効な独自機能や今後の機能拡張など有益な追加提案をすることができるものとする。

7. 成果物

本業務構築が完了する期日までに、受託者は次の成果物を、本市が定める納入指定場所に納入すること。

- (1) 業務実施計画書
- (2) 管理・操作マニュアル
- (3) 機器構成図（ハードウェア・ソフトウェア・ネットワーク）
- (4) クライアント設定マニュアル・設定用プログラム
- (5) 機器設定情報
- (6) テスト結果報告書
- (7) 運用保守計画書（体制・分担・ルールなど）

8. 留意事項

(1) 守秘義務について

受託者は、本業務を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、目的外の利用、提供を行ってはならない。また、契約終了後も同様とする。

(2) 成果物の帰属等について

(ア) 著作権の帰属

本業務の実施により生じた著作物に関するすべての著作権は本市へ帰属するものとする。

(イ) 著作権の処理

本業務の実施による成果物は、映像・画像等の著作権上の権利関係を済ませたうえで納入すること。また、それらに関する紛争が生じた場合は、受託者の責任において対応するものとし、本市は一切の責任を負わない。

(ウ) 品質管理体制について

受託者は、品質管理及び情報セキュリティについて、十分に留意して事業を実施すること。

(エ) 業務適用範囲の確認について

本業務の実施について、社会一般に通常実施される事業項目は、本仕様書に記載のない事項であっても事業の範囲とする。受託者は当該範囲について疑義がある場合は、本市と協議することができる。

(オ) 契約満了後の機器の取り扱いについて

本業務で調達した機器一式は、賃貸借期間満了後は本市に無償譲渡するものとする。